# フランス革命（始まり〜ナポレオン登場まで）

- 革命の背景
  - ルイ１６世
    -
      アンシャン＝レジームの矛盾の表面化
    - 特権身分（第１、第２身分）
      - 啓蒙思想の影響
        - ヴォルテール
          - フランスの後進性を批判
        - モンテスキュー
          - 三権分立
        - ルソー
      - アメリカ独立戦争の影響
    - 財政悪化
      - 英仏植民地戦争・アメリカ独立戦争の援助で
      - 財政の立て直し
        - 重農主義者
        - スイスの銀行家
        - 特権身分への課税
          - 貴族たちの反発
          - 174年ぶり
- 革命の始まり
  - 三部会
    - 第１・第２身分
    - 第３身分
      -
      -
    - ルイ16世による武力弾圧
      - 1789年バスティーユ牢獄襲撃
      - ネッケル罷免も原因
- 国民議会
  - 政治の主力が移行
    - 領主裁判権
      - 十分の一税は無償廃止
    - ラファイエット起草
      - 自由・平等・主権在民
      - 所有権の不可侵
      - 明文化
  - ルイ16世の再弾圧
    -
    - ルイ16世、テュイルリー宮殿へ
  - 国民議会の改革
    - 聖職者を公務員に
    - 営業の自由
    - メートル法の採用の方針
      - 1799年メートル法で正式採用
  - ヴァレンヌ逃亡事件
    -
    - 失敗
    - 神聖ローマ皇帝レオポルド2世
    - ピルニッツ宣言
  - 国民議会→
    - 上層市民のみ参政権
    -
      サンキュロットには参政権なし
- 立法議会
  - フイヤン派VSジロンド派
  - フイヤン派
    - 立憲君主派
    - 憲法OKなら王政OK
  - ジロンド派
    - 共和政
      - 王政NG
    - オーストリアに宣戦
      - 失敗
  - 義勇軍がパリに集結
    - 王権の停止
    - プロイセンに勝利
      - ナショナリズム（国民主義）の台頭
      - 国民公会の招集
- 国民公会
  - ジロンド派VSジャコバン派
    - ジャコバン派
      - 急進派
      - ロベスピエールが中心
  - 1793年
    - ルイ16世の処刑
      - 英首相ピット
    - ヴァンデーの農民反乱
      - 王党派の貴族が指導
    - ジロンド派を追放
    - 実施していない。
    - 農奴制の廃止
    - エベール
  - 1794年
    - ロベスピエール逮捕・処刑
      - 恐怖政治が原因
        - エベール、ダントンなど同志も処刑していた。
  - 1795年
    - 独裁と恐怖政治を防ぐため
    -
      ナポレオンの登場